

授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	小児看護学概論	担当講師	小谷和大 こども家庭センター
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	30時間
科目設定のねらい 小児の成長・発達の過程と生活の特徴を理解し、よりよい健康状態を保ち、成長・発達を促すための看護の役割を理解する。さらに、基本的な生活習慣の獲得や遊びを通して、成長・発達を促すための看護を修得する。また、子どもを取り巻く社会に目を向け、子どもの権利を守るための看護の役割を考える。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指 導 方 法	
4	1. 小児看護の理念と役割について理解する	1) 小児看護の対象 2) 子どもを理解するための発達理論 3) 小児看護の変遷 4) 小児看護の理念	(1) 「子ども」とは (2) 子どもと家族・社会 (1) 認知発達理論、自我発達理論、愛着理論他 (1) 小児医療と看護の変遷 (1) 小児看護の役割と責務・課題	講義 グループワーク	
2	2. 小児看護における倫理について理解する	1) 子どもの権利と親の責任 2) 看護の業務と責務	(1) 子どもの権利 “こどもの権利条約” “小児看護領域で特に留意すべき子どもの権利と必要な看護行為” プレパレーション、インフォームド・アセント	講義	
2	3. 子どもにとっての栄養の意義を理解する	1) 子どもの栄養の特徴	(1) 子どもにとっての栄養の意義 (2) 発達段階別の子どもの栄養の特徴（離乳食） (3) 子どもと食育	講義 グループワーク	
10	4. 小児の成長・発達と看護について理解する	1) 各発達段階の成長と発達	(1) 成長と発達 ① 発達の定義と原理原則 ② 成長発達に影響する因子 ③ 成長発達の評価 (2) 各発達段階の成長と発達 新生児期・乳児期 ① 形態的特徴 ② 身体生理の特徴(原始反射) ③ 各機能の特徴 ④ 養育および看護（日常生活の世話、事故防止） 幼児期・学童期 ① 形態的特徴 ② 身体生理の特徴 ③ 各機能の特徴（遊びの発達と社会性、不適応行動） ④ 養育および看護（日常生活の自立と世話、生活習慣病の予防、安全教育）	講義 講義 グループワーク	

			思春期・青年期 ① 形態的特徴 ② 身体生理の特徴（第二性徴） ③ 各機能の特徴 ④ 心理・社会的適応に関する問題（自殺、いじめ、不登校、引きこもり） ⑤ 思春期の看護	
2	5. 子どもにとっての家族の役割と機能を理解する	1) 子どもと家族の生活	(1) 子どもと家族 (2) 家族アセスメント	講義 グループワーク
8	6. 小児と家族を取り巻く社会を理解する	1) 小児をめぐる法律と施策	(1) 児童福祉 (2) 母子保健 (3) 医療費の支援 (4) 予防接種 (5) 学校保健 (6) 特別支援教育 (7) 臓器移植法	講義 グループワーク
		2) 特別な状況にある子どもと家族への支援	(1) 虐待を受ける子どもと家族の支援 ① 虐待の現状と対策の経緯 ② 子どもの虐待とは ③ リスク要因と発生予防・早期発見 ④ 特徴的にみられる状況 ⑤ 求められるケア (2) 災害を受けた子どもと家族への支援 ① 被災地の環境と看護の役割 ② 災害時の子どもと家族の特徴 ③ 災害時の子どもと家族の支援	講義 グループワーク
2	試験		筆記試験	
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学 [1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会 舟島なをみ他編 看護のための人間発達学第5版 医学書院			
参考文献	山元恵子監修 写真でわかる 小児看護技術アドバンス インターメディカ 桑野タイ子他編 新看護観察のキーポイントシリーズ小児Ⅰ 中央法規出版			
評価方法	出席状況、授業の取り組み、レポート、筆記試験			